

(学年) 1 年次、(教科・科目) 家庭・家庭総合

一斉学習

(単元) 食生活をつくる（栄養素の働き②）

(本時のねらい)

5 大栄養素〔脂質、たんぱく質〕の特徴と多く含む食品の栄養的特質を理解させ、健康や環境に配慮した食生活について考えさせるとともに、自分や家族の食生活の課題発見や改善につながる行動ができるようにする。

(ICT 活用方法)

脂質及びたんぱく質の特徴や働きをわかりやすく説明するために、授業支援クラウドアプリ等を用いて、文字色やフォントで強調したり、画像を活用したりして説明資料を作成し、電子黒板を用いて投影する。必要に応じて画面を拡大し、すべての生徒が見やすいように配慮する。従来は板書によるスクリーニングを実施していたが、通信制での限られたスクリーニングでわかりやすく効率よく説明するために、電子黒板を活用する。また、視覚に訴える学習支援を行うために、Web サイトやテレビ講座の動画の一部を視聴させたりして印象に残るようにする。なお、提示資料は生徒の授業支援クラウドアプリの教科フォルダに配布し、自学自習に活用できるようにする。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法
導入 5分	・本時の学習を知る。	・レポートの設問に沿って説明することを知らせる。	
展開 40分	<p><脂質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・脂質の種類と特徴を知る。 ・油脂の種類と働きについて知る。 <p><たんぱく質></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たんぱく質の働きと必須アミノ酸について知る。 ・たんぱく質を多く含む食品と特徴を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・脂肪酸の種類やコレステロール、体内での働きを説明する。 ・健康や病気との関わりを説明し、食生活を振りかえらせる。 ・必須アミノ酸は体内で合成されず食事で摂取する必要があることを説明し、食事の大切さを気づかせる。 ・動物性たんぱく質がアミノ酸価が高いことを説明 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用端末で資料を電子黒板に投影する。 ・画面を拡大して提示する。 ・電子ペンを用いて、ポイントをわかりやすく示す。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の組み合わせについて考える。 ・ 卵の調理上の特性を知る。 	<ul style="list-style-type: none"> するとともに、たんぱく質の補足効果について「アミノ酸のおけ」を用いて説明する。 ・ 優れたたんぱく源であることや調理上の特性を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 卵の調理上の変化の動画を視聴させる。
まとめ 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・ まとめをする。 ・ 次の予告を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 配布資料を説明する。 ・ 次の予告をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を授業支援クラウドアプリのフォルダに配布する。

(授業の様子)



教材投影方法



板書とICT



提示資料

(生徒の反応と課題、改善を要する点)

資料を電子黒板に提示して授業を行っているが、そのままでは見にくいいため提示画面を拡大してスクロールしながら説明している。画面上でもフォント色を変えてポイントを示しているが、説明時に電子ペンでマークしたり、板書を併用して示す方がわかりやすいようである。ただ、電子ペンで記入した文字は読みづらいこともあるので授業者が慣れて見やすく記入できることも重要である。スクロールのタイミングと生徒のリポート記入のタイミングを合わせることが配慮すべき点である。また、提示資料は印刷して配布するために2枚に収めているが、今後検討する必要もある。生徒は視覚的・聴覚的な理解が印象に残るため、動画を再生したりしているが、説明に時間を要して再生する時間が短くなることが多いため、よりICTを有効に活用し、効果的な教材の展開についての見直しをしていきたい。